

やはぎ

八尾市立
高美小学校
2025.3.4

令和六年度を振り返って

教頭 八田祐一

保護者の皆様、令和六年度も本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。子どもたちは健やかに成長し、それぞれの目標に向かって大きく前進することができました。

今年度は図書館教育を中心に「探究学習」に学校全体で取り組みました。子どもたちが日々の授業の中で、自ら課題を見つけ、解決策を考え、主体的に学ぶ姿勢を身につけるための授業進行をしたり、必要とされるような情報を調べる手段を提供したりするなど工夫して実施しました。その結果、学年の発達段階に応じて課題について深く学び、自分たちにできることを考えるような活動を実践することができました。力をつけていく子どもたちを目の当たりにすることで今後とも彼らの個性や能力を十分に伸ばすための個別最適な学びの実現に向けてより良い指導をしていく必要があると感じています。

また、令和六年度は多様性が尊重される社会への変化が加速した年でした。パオリンピックのように性別や国籍、障がいの有無に関わらず、誰もが活躍できる場が広がり、多くの感動を与えました。しかし、一方で社会全体では異なる意見を持つ人々が対立し、互いを認め合えない場面も多く見られました。インターネット上での誹謗中傷や、偏見に基づく差別などが社会問題となっています。このような社会状況だからこそ、小学生のうちから互いを認め合うことの大切さを学ぶ必要があります。本校でも人権教育を全ての教育の土台とし、多様な他者と協力して学ぶことで実践的に身につくように進めていきます。

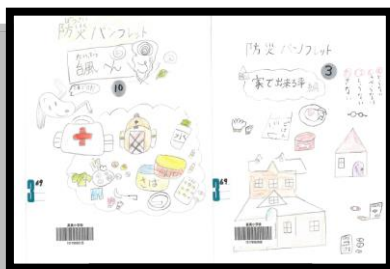
目まぐるしく様々な変化が進む社会情勢の中で、力強く社会を生き抜く子どもたちを育てるために教職員一同、力を合わせて今後も教育活動に取り組んでまいります。保護者の皆様方におかれましては、来年度も引き続き学校と共に子どもたちを見守っていただきますようお願いいたします。

図書

図書館は、大きく二つの活動に取り組んできました。ひとつは「ゆっくりと本を読む活動」です。サポーターの読み聞かせや、互いにおすすめ本を紹介しあう活動などをしながら楽しく読みすすめています。本が置いてある場所もよく覚えていて、絵本、生き物の本、物語など自分の好みで読書活動をすすめることができました。おもしろいところを見つけるとうれしそうに話しにくる子どもたちが多く、読書が子どもたちの心を豊かにしてくれていることを感じる時間でした。ふたつめは、「情報を活用し自分の考えを発信しあう時間」です。例えば六年生は、子ども新聞の記事から疑問に感じたことを調べ伝えあう学習に取り組みました。タブレットを使ってまとめることで、効率的にお互いの学びを交流しやすくしています。学習はスピード感があり、集中力を発揮しました。

また、教科学習で作ったパンフレットなどは、図書資料として図書館に置くように始めました。四年生の「防災パンフレット」、五年生の「伝記を読んでもすごいを伝えるパンフレット」などがあります。じっくり読みたいと、借りていく子どもがいるなど、学年交流の資料にもなっています。

図書館はみんなで作くりあげる子どもたちの学ぶ場所です。これからもたくさんの本と親しんでいきましょう！



防災

今年度も、本校は防災教育を行っています。自然災害への備えや対応方法を学ぶことは、命を守るために非常に大切なことです。今回は、子どもたちがどのように防災教育を受けているのか、その様子を紹介します。

一年間を通して、地震避難訓練や一斉下校訓練、大阪880万人訓練、不審者対応訓練、火災避難訓練等を行っています。また、地域から寄贈して頂いたヘルメットを活用しての訓練も行いました。

子どもたちは、避難訓練の際に真剣な表情で指示を守り、避難経路をスムーズに確認しました。緊急時にも冷静に行動できるよう、毎回の訓練で一生懸命に取り組んでいます。また、不審者対応訓練では不審者が学校に入ってきた場合を想定し、自らの命を守る行動を学習しました。どの子どもも真剣な顔つきで訓練に参加していました。

訓練の終了後、各教室では「もしも」のシミュレーションを行い、もし災害が発生したらどうするか、放課後に道で不審な人に出会ったらどうするか等、自分の命を守るための行動について学習しています。

〇いかのおすし

「(ついて) いかない」

「(車に) 乗らない」

「大声でさけぶ」

「すぐに逃げる」

「(大人に) 知らせる」



理科

理科の授業の様子

理科の授業では、日常の不思議に実際に触れて学習ができるようにさまざまなことに取り組んでいます。年間を通じて一つの植物を育てたり、科学実験をしたりしています。また、自分たちで調べたことをわかりやすく発表するために何度も話し合い、資料に工夫を施す様子も見られました。何事も意欲的に取り組む子どもが多く、時には身を乗り出して実験の様子を観察する姿が印象的でした。

これからも楽しんで、勉強していきましょう！

